

## 尿失禁に対する新しい治療ーボツリヌス療法について

内服薬ではなかなか治らない、程度がつよい尿失禁に対し、ボツリヌス治療が新たに保険適応になりました。当院での治療成績も良好ですので紹介いたします。

対象は「尿が我慢できず漏れてしまう」「急に尿意をもよおし、トイレまで間に合わない」などの症状をお持ちの方です。過活動膀胱や神経因性膀胱という病気が原因で起こるもので、内服薬を続けても、なかなか良くなる場合にお勧めです。また、お薬の副作用で、薬が続けられない場合などにも有効な治療法です。

具体的には、膀胱の筋肉に筋肉を緩めるお薬（ボツリヌス毒素：薬剤名ボトックス）を注入するもので、軽い麻酔と膀胱の内視鏡が必要です。治療に要する時間は15分程度です。短期間の入院（2泊以内）か、日帰り手術の形で行います。効果は劇的なことが多く、一回の注入治療で、半年以上にわたり尿漏れや頻尿がなくなることがほとんどです。ただし、徐々に効果が薄れることが多く、年単位で治療を繰り返す場合もあります。

ボツリヌス療法は欧米を中心に普及しており、世界90か国以上で認可されています。頻尿や尿漏れの他、まぶたや顔面のけいれんや、首や手足の病気、腋の多汗症、斜視など様々な病気の治療に用いられています。安全な治療ですが、患者さんによってはお勧めできない場合もありますので、詳しいことは担当医にお尋ねください。（担当医：飴田要、古野剛史）